

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	スタッフルーム内に法人とグループホームの理念を掲示しているが、毎日の唱和ができておらず、きちんと答えることができない職員がいる。年1,2回、理念に関する研修を行ったり、新人職員には管理者から説明をしているが、職員間での理念の共有については十分とは言えない。	法人とグループホームの理念を理解し、日々の業務(ケア)を行う。	毎朝、申し送り後に法人とグループホームの理念を唱和し、確認後、日々の業務(ケア)を行う。年3回、理念に関する研修を行い、職員で理念に基づいたケアのあり方等を話し合うことで、理念の共有に繋げる。新人職員には今後も管理者から説明をする。	2ヶ月
2	35	運営推進会議開催時に年2回避難訓練を行い、家族、保険者、区長、民生委員に参加してもらっているが、地域住民の訓練への参加は少ない。また、夜勤専従職員に対しての訓練が全くできていない。	年1回は夜勤専従職員が参加できる避難訓練を行う。	地域住民の避難訓練への参加についてはまずは区長に相談してみる。また、年1回、夜勤専従職員が参加しやすい日時に避難訓練を計画、実施する。どうしても参加が難しい場合は研修を行い、実際に学ぶ機会を作る。	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。